

2 個別事業評価調書

団体名： 向日市

事業名		向日市観光史跡案内板(長岡宮跡 春宮坊)修繕					
事業の概要	<p>長岡京跡は、東西4.3km南北5.3kmの規模(22.79km²)を有し、3市(京都市、向日市、長岡京市)1町(大山崎町)に広がる広域遺跡である。このうち、本市に占める面積は4.512km²であり、割合は少ないものの宮域全域が位置する極めて重要な地域となっている。これらの文化財として重要な地域を「長岡京跡」として史跡指定を受け、歴史的文化遺産の保全継承を図るとともに、本市独自の観光資源としての活用を進めている。</p> <p>本案内板は、平成11年7月に「鶏冠井かしの木公園」に設置の観光史跡案内板で、「長岡京跡春宮坊」の概要とその地域の発掘調査の内容を記載し、長岡京跡についての広報普及を図ったものである。しかし、整備後数年が経過し、老朽化による破損等が見られるため、その更新整備を行う。</p>						
	事業期間	平成20年度					
	総事業費	598千円	本年度事業費	598千円	交付金交付額	232千円	
事業評価	事業の必要性	観光史跡案内板の整備後数年が経過し、老朽化による破損等が見られるため、その更新整備を行う。					
	事業の有効性	市内の史跡めぐりのポイントとして整備することにより、長岡宮跡を活用した観光振興が図れる。					
	事業の効率性	長岡京跡についての広報普及を図ることにより、さらに長岡京への理解が深まり、文化財愛護の精神と郷土愛が育むことができる。					
	具体的な成果	<p>1 府と市町村等との連携に資する成果</p> <p>日本古代の首都である都城遺跡は、奈良や京都など数か所に限られた極めて貴重な遺跡である。この歴史的・文化遺産を案内板等により特徴のある整備を実施することにより、市・府内外に対して、本市の独自性を強調する機会ととらえることにより、市・府民の郷土愛を育むとともに観光面などの集客力を高めることができた。</p>					
		2 住民の自治意識を高める成果					
		3 リーディング・モデル成果					
<p>4 広域的波及成果</p> <p>施策の基本方向「豊かな自然と磨き上げた文化が織りなす交流圏」において、歴史文化の保全・継承と地域文化の振興がある。長岡京跡等の都城遺跡などの歴史的・文化遺産の保全・継承を図るとともに、本遺産を活用した賑わいのある地域づくりの促進に役立つことができた。</p>							
5 行財政改革に資する成果							
<p>6 その他の成果</p> <p>桓武天皇の皇太子である安殿親王(あてしんのう:後の平城天皇)の住まいである春宮坊(とうぐうぼう)の概要とその地域の発掘調査の内容を記載した観光史跡案内板を整備し広報普及することにより、長岡京跡への関心を高め観光振興に寄与すると共に、地域住民への文化財保護の意識を高め、郷土愛を育むとともに市民の文化的・生活の向上に資することができた。</p>							

(記載要領)

- 1 事業ごとに本様式を作成すること。
- 2 「具体的な成果」欄については、できる限り客観的な数値を掲げて具体的に記載すること。